

まちかど

# ネットワーク

## お便りください

このコーナーは、皆さんのお意見や地域の話題をお届けしています

広報広聴課 ☎55-2700 へご連絡ください



▲パステルで描かれた「カヤぶき」の絵は優しいタッチが魅力

語の教師だった芦澤さんは、書道の腕前が師範級の持ち主。しかし、もともと絵が好きだったことから、教員を退職した昭和五十五年から独学で絵を描き始めました。それからというもの「好きなことは徹底してやらないと気が済まない性格」とみずから語るほど、絵の世界に没頭。風景画を主に描き、油絵や霧吹き画、パステル画などさまざまな具材にもチャレンジし、これまでに、県の芸術祭や

富士市展などでたくさんの賞を受賞しました。

風景の中でも特にこだわったのが、カヤぶき屋根のある風景。芝川町で生まれた芦澤さんは、「自分が生まれ育った、ふるさとの思い出を絵に残したい」と、天気のいい日には車で出かけ、カヤぶき屋根の民家を見つけてスケッチをするという旅を足かけ十五年続け、ついに六十五点もの作品を完成させました。

芦澤さんは「ことしの九月に、市立中央図書館で、この六十五点の作品をすべて展示した個展を開くことができ、一区切りがつきました。たくさん的人に見に来てもらい、大変うれしかったです。絵のいいところは、書のように手本がないこと。自分で見た風景を自由にキャンバスに表現できますからね」と笑顔で話してくれました。

同組合商業部長の伴野正彦さんは「最近富士本町に限らず、どこの商店街でも人の流れが昔

ともの

富士本町商店街振興組合ホームページ <http://www.fujicity.net/>

富士市展などでたくさんの賞を受賞しました。



日本の伝統建築  
「カヤぶき」を描く

## 芦澤 光義さん

(今泉8丁目)

空き缶・ペットボトルを楽しくリサイクル  
ふじエコステーション



▲完成したふじエコステーション

そしてことしの九月九日、空き缶とペットボトルの二つの回収機を備えた「ふじエコステーション」が富士本町通りのほぼ中央にオープンしました。この回収機は、空き缶やペットボトルを入れると圧縮する一方、画面が作動し、数回に一回商店街加盟店の割引券などのラッキー チケットが当たる仕組みになっています」と話してくれました。

岡成五理事長）では、昨年から「商店街の活性化」や「循環型社会の一翼を担う商店街」を目指すため話し合いを重ねてきました。東京の早稲田商店街で、空き缶などの回収機を使つた事業が、リサイクルと商店街へ人の流れを呼ぶ取り組みとして大きな効果を上げていることなどがわかり、同組合でも導入を決めました。

そしてことしの九月九日、空き缶とペットボトルの二つの回収機を備えた「ふじエコステーション」が富士本町通りのほぼ中央にオープンしました。この回収機は、空き缶やペットボトルを入れると圧縮する一方、画面が作動し、数回に一回商店街加盟店の割引券などのラッキー チケットが当たる仕組みになっています」と話してくれました。